

平成28年度事業報告書

(公益財団法人：平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)

1 概要

最近の暴力団情勢は、年々その構成員数は減少傾向にはあるものの、平成27年8月末、国内で最大勢力を有していた六代目山口組(以下「山口組」という。)が分裂し、破門、絶縁となった直参組長らが新しい暴力団組織である「神戸山口組」を結成するなど、暴力団の勢力図も大きく変化してきた。

また、これら暴力団組織の資金獲得活動については、賭博、ノミ行為、薬物密売など、これまでの伝統的なものに加え、暴力団と密接な関係を持つ、いわゆる「暴力団共生者」を利用して各種の商取引や公共工事に介入し、公的な制度を悪用して不正な利益を得るなど、その手口も巧妙化してきており、近年、大きな社会問題となっている振り込め詐欺などの特殊詐欺事件を組織的に敢行するなど多種多様な資金獲得活動を展開し、国民生活に根深く入り込み、社会にとって大きな脅威となっている。

本県の暴力団情勢にあっても、これまで、その全てが山口組傘下組織であったのが、神戸山口組傘下組織とが入り乱れた状態となっており、今後の動向が憂慮されるところである。

このような暴力団情勢を踏まえ、当センターでは、暴力団のいない「日本一安全で安心して暮らせる奈良の実現」に向けて、県警察をはじめ行政機関、地域及び職域の関係団体と連携を強化し、暴力団追放のための広報啓発活動、地域経済団体等の暴力団排除組織に対する講習会等の支援活動及び暴力追放相談活動等を積極的に推進し、さらなる暴力団排除気運の高揚を図るための事業を実施した。

2 実施内容

(1) 広報啓発事業

事業名	実施内容	備考
暴力団・銃器追放奈良県民大会	名称：第25回暴力団・銃器追放奈良県民大会 日時：平成28年8月30日(火曜日) 場所：田原本青垣生涯学習センター 「弥生の里ホール」 内容：奈良県警察音楽隊によるウエルカムコンサートをはじめ、表彰式典、犯罪被害者遺族小佐々洌子氏による「事件から続く家族の苦しみ」と題した暴力団排除講演等を行った。	参加人員：県民等約500名
広報啓発活動	以下の広報啓発資料を作成し、当センターの活動内容を広く紹介するとともに県民に対	

する暴力団排除意識の高揚に努めた。

広報啓発資料等

資 料 名	部 数
暴追だより「奈良」	800部
暴力団追放カレンダー	700部
民暴相談のしおり	900部
不当要求防止責任者教本	1,300冊
暴力団情勢と対策	900部
企業対象暴力の現状と対策	800部
行政対象暴力の現状と対策	500部
暴追センター広報用チラシ	1,000部

テレビCM等

奈良テレビCM(スポットCM)
暴力団追放の看板設置(近鉄大和八木駅構内、JR奈良駅構内、JR奈良駅前ビル、近鉄奈良駅構内、県立図書情報館、橿原文化会館、国道24号沿い(大和郡山市内))
ホームページによる情報発信
奈良交通バス広報(車内ステッカー170台分、車内アナウンス広報、車体ラッピングバス1台)
月刊誌「月刊奈良」、橿原市広報誌等への広告掲載

表 彰

暴力団追放活動に功労があった以下の団体・個人を表彰し、県民の暴力団排除意識の高揚を図った。

全国暴力追放功労表彰

(2名)

区分	受 賞 者
個人	三 住 忍 (奈良市)
	山 内 康 行 (五條市)

**近畿ブロック暴力追放功労表彰
(2 団体・ 2 名)**

区分	受 賞 者
団体	株式会社 南都銀行
	奈良県生保警察連絡協議会
個人	村 田 稔 治 (田原本町)
	新 谷 壽 男 (桜井市)

**奈良県暴力追放功労表彰
(3 団体・ 7 名)**

区分	受 賞 者
団体	香芝地区暴力排除推進協議会
	吉野地区防犯協議会
	奈良県証券警察連絡協議会
個人	高 峯 きぬえ (生駒市)
	池 原 温 美 (河合町)
	吉 田 勝 資 (広陵町)
	森 井 正 啓 (桜井市)
	森 廣 完 (大和高田市)
	馬 場 智 巖 (豊中市)
	塩 見 俊 次 (奈良市)

少年に対する暴力団の影響を排除する活動

少年指導委員及び少年補導委員に対する研修において、暴力団情勢について講義するとともに資料を提供するなど、最新の暴力団情報を提供した。

(2) 地域・経済団体等に対する支援

事業名	実施内容	備考
不当要求防止責任者講習	奈良県公安委員会から委託を受け、事業所責任者及び自治体担当者に対する「不当要求	

	防止責任者講習」を29回（受講者：704名）実施した。	
地域及び職域の暴力団排除組織に対する支援	県下自治体や地域が組織する暴力団排除組織、職域の暴力団排除推進協議会等が開催した研修会、暴追大会等において、資料の提供、DVD等の貸出しのほか、要請に基づき講演等を行うなどの支援活動を行った。	

(3) 暴力追放相談事業

事業名	実施内容	備考																					
暴力追放相談事業	<p>暴力団からの被害や困りごと等に対する相談業務は、当センターでの面談や電話、メールにより行ったほか、暴力追放相談委員（弁護士、保護司等）とともに、センターから遠隔地の中南和地域ショッピングセンター内の一画を会場にして、3回（4月・6月・11月）の出張相談を無料で開設した。</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2">暴力相談受理件数</td> <td>164件</td> </tr> <tr> <td>類</td> <td>型</td> <td>件数</td> </tr> <tr> <td>因縁をつけての金品要求行為</td> <td></td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>離脱・勧誘等の強要に関するもの</td> <td></td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>刑事事件等に関するもの</td> <td></td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>暴力団対策法に関するもの</td> <td></td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>その他（反社会的勢力の認定に関する相談、照会等）</td> <td></td> <td>164件</td> </tr> </table>	暴力相談受理件数		164件	類	型	件数	因縁をつけての金品要求行為		0件	離脱・勧誘等の強要に関するもの		0件	刑事事件等に関するもの		0件	暴力団対策法に関するもの		0件	その他（反社会的勢力の認定に関する相談、照会等）		164件	
暴力相談受理件数		164件																					
類	型	件数																					
因縁をつけての金品要求行為		0件																					
離脱・勧誘等の強要に関するもの		0件																					
刑事事件等に関するもの		0件																					
暴力団対策法に関するもの		0件																					
その他（反社会的勢力の認定に関する相談、照会等）		164件																					

(4) 救済更正促進事業

事業名	実施内容	備考
暴力団離脱者に対する支援活動	暴力団離脱者の社会復帰対策を推進しているが、支援はなかった。	

被害者に対する見舞金支給、民事訴訟等の支援	暴力団員による犯罪行為の被害者に対する見舞金の支給、暴力団員による不法行為に対する損害賠償請求訴訟等の民事訴訟費用の貸付け、暴力団員による不法行為による建造物、物品等が損害を受けた場合の応急的修復費用の貸付け等はなかった。	
-----------------------	---	--